

医療法人 康仁会 西の京病院

【診療科目】 内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科(人工透析)、糖尿病内科、外科、
整形外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、
眼科、麻酔科(院長登志)、リウマチ科、血管外科、歯科、救急科

【受付時間】 8:30～12:00 【休診日】 日・祝

〒630-8041 奈良県奈良市六条町102-1

TEL.0742-35-1121 FAX.0742-35-1160 <http://www.nishinokyo.or.jp/>



副院長・透析センター長 吉岡 伸夫

人工透析の確かな技術でCKD進展阻止を目指す

世界文化遺産の薬師寺を眼前に眺める西の京病院は、高比康臣理事長のもと急性期医療を中心にした総合医療施設で、奈良県下では最大規模を誇る患者総数370名の透析センターを併設しています。新規導入や他院からの受け入れも含めると年間約70名(2015年1～12月)の患者さんが当院で新たに透析を開始しています。

現在、透析に至る患者さんの原疾患の半数近くが糖尿病で、高齢の患者さんの増加とともに腎硬化症も増え続けており、併せると導入患者さんの60%近くになります。そこに着目すれば、CKDの進展を阻止するには糖尿病と血圧のコントロールが必須であることがわかります。

糖尿病性腎症は高血糖による最小血管障害が主因であることから、糖質を抑えた食事療法はもちろんですが、HbA1cやアルブミン尿をスクリーニングしながら、DPP4阻害薬を第一選択に、血糖降下薬を躊躇することなく開始します。肥満患者にはSGLT2が有効であり、インスリン抵抗性を抑えるため、腎機能に注意しながら積極的にメトホルミンを使います。血圧はARBを中心にRAS阻害薬で腎を保護し、さらにはCa拮抗薬を併用することで適切な血圧を維持し続けることが肝要です。そして、患者に通院治療を中断させない、医師としての人間的魅力を備えるための研鑽がなによりも大事です。